

コース名		ユニット科目名			対象学年			
公衆衛生社会医学		環境社会医学			4			
開講学期	科目責任者	副責任者	全体資料					
1・2 学期	大槻 剛巳	西村 泰光	無					
一般目標 [GIO (General Instructional Objective)]								
<p>1. 人間を取り巻く自然・社会環境因子と健康や疾病との関連を探求し、広く社会医学・公衆衛生学・予防医学などと称される学問領域において、特に環境保健、食品保健と栄養、感染症、労働衛生ならびに法医学についての理解を深める。</p> <p>2. 現代の生活が環境になにをもたらし、それらが人々の健康にどのように影響し、どのような仕組みで対策を講じているのかを学習し、何をすべきかを理解する。</p> <p>3. 食生活の安全を確保するため、食中毒や食品の安全性評価について理解するとともに、栄養についての正しい知識と実践を健康に結びつけ得るように、掌握する。</p> <p>4. 感染症の成立要因と伝播形式を理解し、発生予防や蔓延予防の方策について理解するとともに、流行の状況や予防対策を把握する。</p> <p>5. 働く人々の健康を支える仕組みや管理、そして有害因子への対策を理解し、全人的に健康を損なわない労働現場での健康対策を身につける。</p> <p>6. 一般社会における法医学の重要性を認識するとともに、特に法医解剖や検死にあたって正しい判断を下せるように、死体の診かたを理解する。</p>								
行動(到達)目標 [SBOs (Specific Behavioral Objectives)]								
<p>1. 地球環境の問題と健康との関わりを説明できる。</p> <p>2. 生活環境の保全について、廃棄物処理も含めて説明できる。</p> <p>3. 公害の要因や対策、さらに近年、発生してきている環境からの健康障害について説明できる。</p> <p>4. 食品の安全について、その動向、食中毒、衛生管理について説明できる。</p> <p>5. 国民の栄養について、現状・健康との関連・食育・食事摂取基準について説明できる。</p> <p>6. 感染症の成立要因や流行、種類とともに、それらの動向と法的規制について説明できる。</p> <p>7. 感染症予防対策について説明できる。</p> <p>8. 主要な感染症について、概要とともに予防対策について説明できる。</p> <p>9. 健康に影響を与える労働環境・労働による健康障害の状況について説明できる。</p> <p>10. 労働衛生管理について説明できる。</p> <p>11. 職業性疾病と関連する健康課題、健康増進とともに働きやすい職場環境について心身両面の健康から説明できる。</p> <p>12. 法医学という学問領域について大要を説明できる。</p> <p>13. 検死にあたっての注意点を挙げることができる。</p> <p>14. 死因別死体観察の要点を説明できる。</p> <p>15. 死亡診断書(死体検案書)などの書類を正しく記載することができる。</p>								
授業計画								
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	4/ 2	木	5	講義	宮石	非常勤/ 学園外	法医学総論	B-(6), E-7
2	4/ 2	木	6	講義	宮石	非常勤/ 学園外	早期死体現象	E-7-1), E-7-3) E-7-G
3	4/ 2	木	7	講義	宮石	非常勤/ 学園外	晩期死体現象	E-7-1), E-7-4) E-7-G
4	4/15	水	2	講義	大槻	衛生	食品保健：細菌性食中毒	E-1-(1)-5)
5	4/15	水	3	講義	大槻	衛生	食品保健：ウイルス性食中毒	E-1-(1)-5)
6	4/24	金	5	講義	石川	非常勤/ 学園外	損傷総論	E-7, E-7-5)
7	4/24	金	6	講義	石川	非常勤/ 学園外	損傷各論	E-7, E-7-5)
8	4/24	金	7	講義	石川	非常勤/ 学園外	損傷による死因	E-7, E-7-5) E-7-6)
9	5/ 7	木	5	講義	吉留	衛生	中毒総論	E-4-(3)-①, E-4-G E-7
10	5/ 7	木	6	講義	吉留	衛生	中毒各論	E-4-(3)-①, E-4-G
11	5/ 7	木	7	講義	富田	非常勤/ 医福大	個人識別	B-(6)-4)
12	5/20	水	2	講義	大槻	衛生	食品の機能	B-(4)-G, B-(5)-11)
13	5/20	水	3	講義	大槻	衛生	食の安全	B-(1)-4), B-(4)-G

14	5/22	金	5	講義	木下	非常勤/ 学園外	内因性急死	B-(6)-1, B-(6)-2 E-7-5)
15	5/22	金	6	講義	木下	非常勤/ 学園外	異状死総論	B-(6)-1, B-(6)-2 B-(6)-G
16	5/22	金	7	講義	木下	非常勤/ 学園外	異状死各論	B-(6)-1, B-(6)-2 B-(6)-G
17	6/ 4	木	5	講義	宮石	非常勤/ 学園外	窒息総論	B-(6)-1, D-6-G E-7-G
18	6/ 4	木	6	講義	宮石	非常勤/ 学園外	窒息各論	B-(6)-1, D-6-G E-7-G
19	6/ 4	木	7	講義	宮石	非常勤/ 学園外	生体の法医学	E-7-1), E-7-4) E-7-G
20	6/10	水	2	講義	大槻	衛生	環境保健：総論	B-(1)-3), B-(1)-4)
21	6/10	水	3	講義	大槻	衛生	環境保健：地球環境	B-(1)-3), B-(1)-4)
22	6/26	金	5	講義	三浦	非常勤/ 学園外	嬰兒殺	B-(6)-1), B-(6)-G E-7-1), E-7-4) E-7-G
23	6/26	金	6	講義	三浦	非常勤/ 学園外	異状死体と死体検案	B-(6)-1), B-(6)-2) B-(6)-G
24	6/26	金	7	講義	三浦	非常勤/ 学園外	死亡診断書（死体検案書）の 書き方	B-(6)-3), B-(6)-5) B-(6)-G
25	8/31	月	2	講義	西村泰	衛生	環境保健：上下水道	B-(1)-3), B-(1)-4)
26	8/31	月	3	講義	西村泰	衛生	環境保健：騒音・振動の健康影響 と対策	B-(1)-3), B-(5)-4)
27	9/ 2	水	2	講義	大槻	衛生	環境保健：観光汚染の評価と公害	B-(1)-3), B-(1)-4)
28	9/ 2	水	3	講義	大槻	衛生	環境保健：環境汚染と廃棄物処理	B-(1)-3), B-(1)-4)
29	9/ 4	金	1	中間 試験	大槻・吉留 富田	衛生 非常勤/ 医福大	中間試験：法医学領域	B-(6), E-7
30	9/ 4	金	2	中間 試験	大槻・吉留 富田	衛生 非常勤/ 医福大	中間試験：法医学領域	B-(6), E-7
31	9/16	水	2	講義	大槻	衛生	栄養対策	B-(1), B-(3) B-(4)
32	9/16	水	3	講義	大槻	衛生	国民栄養：現状	B-(1), B-(3) B-(4)
33	9/18	金	1	講義	大槻	衛生	国民栄養と健康の現状	B-(1), B-(3) B-(4)
34	9/18	金	2	講義	大槻	衛生	環境保健：放射線と住居環境	B-(1), B-(1)-8) B-(3), C-3-(3)
35	9/25	金	1	講義	大槻	衛生	主要感染症の疫学像	B-(5)-11), E-1-G
36	9/25	金	2	講義	大槻	衛生	感染症とその疫学	B-(5)-11), B-(5)-12) E-1-G
37	9/30	水	2	講義	大槻	衛生	産業保健：総論	B-(5)-4)
38	9/30	水	3	講義	大槻	衛生	産業保健；労働衛生対策と労働災 害	B-(5)-4)
39	10/14	水	3	講義	大槻	衛生	感染症の予防と流行対策	B-(5)-11), B-(5)-12) E-1-G
40	10/16	金	4	講義	西村泰	衛生	産業保健：粉じんによる障害 （じん肺）の総論	B-(5)-4), D-6-(4)-③-9)
41	10/20	火	2	講義	西村泰	衛生	産業保健：粉じんによる障害 （じん肺）の各論	B-(5)-4), D-6-(4)-③-9)
42	10/21	水	2	講義	大槻	衛生	産業保健：産業中毒（金属）	B-(1)-4), B-(5)-4)

43	10/21	水	3	講義	大槻	衛生	産業保健：産業中毒（ガス、農薬など）	B-(1)-4, B-(5)-4
44	10/26	月	3	講義	西村泰	衛生	産業保健：気圧・物理的要因、作業態様・VDTによる健康影響	B-(5)-4
評価方法								
<p>[定期試験]40%（法医学以外の領域を対象に、五肢択一あるいは択二の問題をe-Testingで実施する。）</p> <p>[レポート]10%（岡山大学法医学分野にて、法医解剖見学を行い、十分なレポートを提出する。この見学実習への、最低1回の参加は必須であり、不参加者・レポート不可の場合には、ユニットとして欠点となる。）</p> <p>[中間試験]40%（法医学領域については、中間試験で評価する。）</p> <p>[実習点]10%（岡山大学法医学分野にて、法医解剖見学を行い、十分なレポートを提出する。この見学実習への、最低1回の参加は必須であり、不参加者・レポート不可の場合には、ユニットとして欠点となる。）</p> <p>[備考]・e-Testingの説明、岡山大学での法医解剖見学実習については、予防医学の見学・実習オリエンテーション時（4月1日（水）6限）に行う。ネットワーク利用承認書に記載のID・PWが必要となるため、各自確認しておくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法医学領域は、主に他学の非常勤講師の先生に講義をお願いしている。社会的な礼節を弁え、失礼のないように受講すること。 ・評価については、法医学領域は中間試験を実施する。現状では筆記試験の予定であるが、e-Testingなどを導入する可能性もあり、事前に形式については連絡する。 ・法医学領域以外については、マルチメディア教室でのe-Testingを実施する。PCでの受験であるCBTと形式は類似しているため、その学内科目でのデモンストレーションという意味合いでも、慣れていただきたい。 ・法医学領域、その他の領域を均等に配点の上、法医解剖見学実習について、その参加とレポートの評価を加えて最終成績とする。ただし、法医解剖見学実習については、最低1回の参加を必須とし、不参加ならびに参加したものの十分なレポートと認められない場合には、ユニットの評点を欠点とする。 ・法医解剖実習は、予定出来るものではなく、Eメールによる連絡によって、学期中は週末の実施について、長期休暇中には、週末以外でも実施される場合に連絡を行う。4月1日のオリエンテーションでその登録なども説明するので、確実に行うこと。また、2014年度も10～11月に参加可能な法医解剖が希少であったこともあり、原則的には2学期開始までに参加を義務付ける。可能な限り、早期に参加することが望ましい。 								
教科書								
<p>ISBN-9784896325010, サブノート 保健医療・公衆衛生 2014, 医療情報科学研究所（編集）, メディックメディア, 2013/10/25 教科書は法医学領域では指定しない。環境保健・産業保健等の領域で1冊（こちらは予防医学ユニットでも使用する）を指定する。必須である。</p>								
参考書								
<p>ISBN-9784260015929, 標準法医学 第7版（標準医学シリーズ）, 石津 日出雄, 高津 光洋（監修）, 池田 典昭（編集）, 鈴木 廣一（編集）, 医学書院, 2012/12/14</p> <p>ISBN-9784525190262, 学生のための法医学, 田中 宣幸, (株)南山堂, 2006/11/01</p> <p>ISBN-9784263207970, NEW エssenシャル法医学, 高取 健彦（監修）, 長尾 正崇（編集）, 山内 春夫（編集）, 中園 一郎（編集）, 医歯薬出版, 2012/07/01</p> <p>ISBN-9784875110859, 死亡診断書・出生証明書・死産証書記入マニュアル（平成7年版）, 厚生統計協会, 厚生統計協会, 1995/02</p> <p>ISBN-4910038540842, 厚生指標 増刊 国民衛生の動向 2014/2015, 厚生労働統計協会（編集）, 厚生労働統計協会, 2015/01/07</p> <p>ISBN-9784524263158, NEW 予防医学・公衆衛生学（Nankodo's essential well-advan）, 岸 玲子（編集）, 大前 和幸（編集）, 小泉 昭夫（編集）, 古野 純典（編集）, 南江堂, 2012/04/01</p> <p>ISBN-9784780706017, 分子予防環境医学—生命科学研究の予防・環境医学への統合, 分子予防環境医学研究会（編集）, 本の泉社, 2010/12/01</p> <p>国民衛生の動向（2015/2016）は、8月下旬に発刊されます。その他の参考書として利用できます。</p>								
予習・復習								
それぞれの講義内容について、教科書・参考書を利用して予習復習を実施すること。								
講義についての注意事項								
<p>評価方法の備考にも記したが、本ユニットでは、42コマの講義、2コマ分の中間試験に加えて、岡山大学法医学教室での法医解剖の見学・実習を必須とする。但し、法医解剖は予定があつて実施される訳ではないので、教員担当者からの連絡を受け、週末や長期休暇を使って、期日までに1回の参加を義務付ける。詳細は後日連絡する。</p>								
オフィス・アワー、連絡先								
<p>衛生学 大槻 剛巳 金曜日：午後</p> <p>他の先生への連絡についても大槻を介していただければ幸いです。法医学領域は特任教授の先生と非常勤講師の先生によるため、なかなか学内ではお会いできないと思いますので、連絡を取ります。</p> <p>また、学会や大学業務出張などで不在の場合もあります。その場合には、メール（takemi@med.kawasaki-m.ac.jp）で連絡を取ってください。出張先でも対応可能です。</p>								